

生物資源と触媒技術に基づく 食・薬・材創生コンソーシアム

目的

産業技術総合研究所触媒化学融合研究センターの「**実用触媒技術**」を核とした、地球上に存在する様々な生物資源の高機能化・高付加価値化による

- ・ **医療・健康分野**に関わる「**食と薬**」
- ・ **機能性材料分野**に関わる「**材**」

における商品開発・普及を促進することにより、産業化を推進

概念図



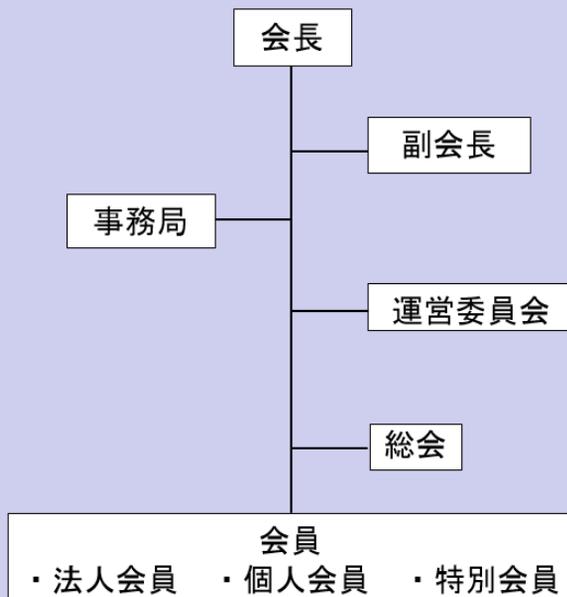
産総研、筑波大学、東京大学の連携により、
・各機関の技術シーズを融合した共同研究体制の構築
・企業・大学・公的研究機関の研究交流の場の提供

技術・情報の収集・提供・交換・共通認識形成を図り、
生物資源の**実用化・産業化**を推進

運営体制

会長、副会長及び幹事から構成される運営委員会の下、会員として法人会員、個人会員及び特別会員を置き、年1回総会を開催

- ◆ **法人会員**：会費を納めた法人又は団体
○年会費：大企業 一口10万円
 中小企業 一口5万円
 ※一口当たり4名まで登録可能
- ◆ **個人会員**：大学及び公的研究機関の研究者
 (年会費：無料)
- ◆ **特別会員**：国の行政機関など本事業の推進を図るため会長が参加を必要と認めたもの
 (年会費：無料)



定常的活動予定・事業内容

- ◆ **シンポジウム（毎年度1回）：公開**
会員の参加費は無料
内容：会員、非会員を問わず、生物資源の機能性に関する講演を依頼
アカデミア4名程度、企業2社程度
- ◆ **ワークショップ（毎年度1、2回）：原則非公開**
会員の参加費は無料
内容：3社程度の会員企業と2名程度のアカデミア（個人会員）が
話題提供後、意見交換
- ◆ **技術ニーズ・市場等の調査（毎年度1回程度）：会員にのみ結果公開**
内容：ニーズの高い分野に関する調査・情報提供
- ◆ **よろず相談室（随時）：非公開**
必要に応じてNDA締結。主に会長が対応。
内容：ニーズに合わせて、産総研、筑波大学、東京大学の技術を紹介
共同研究先等のマッチング

◇お申し込み先・お問い合わせ先
産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター
生物資源と触媒技術に基づく食・薬・材創生コンソーシアム事務局
佐々木 一憲（ささき かずのり）
Eメール：shoku-shoku.sec-ml@aist.go.jp
電話：029-861-9452、ファックス：029-861-4498



皆様の積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます